

お問い合わせ先

担当者	埋蔵文化財調査センター 担当： 田中久雄				
連絡先	同上 外線 527-1170				
総合計画 位置付け	基本 方針	基本 政策	施策	取組の 方向性	主な 取組
	2	7	22	2	4

R5年 4月10日

「大津市埋蔵文化財調査報告書（160）坂本城跡出土瓦の再整理」を発売しました！  
～黒瓦と赤瓦の謎～

1 調査の目的

明智光秀が築城した坂本城跡の発掘調査では、黒瓦と赤瓦が見つかっています。従来、赤瓦については坂本城炎上時の被災によって変色したものと考えられていましたが、その中には元々赤瓦が存在しているのでは、という疑問もありました。このことを解明するために、瓦の考古学的再整理及び理化学的分析を行いました。

2 調査の方法

考古学的観察による再整理、残留磁化測定およびルミネッセンス法を用いた被熱履歴分析、蛍光X線による胎土分析

3 分析機関：残留磁化測定：岡山理科大学フロンティア理工学研究所

ルミネッセンス法被熱履歴分析：立正大学地球環境科学部

胎土分析：国立民族学博物館 共同利用型科学分析室

4 調査結果の概要

各測定の結果、赤瓦の中には、坂本城炎上の際の二次被熱で黒瓦が変色したものではなく、当初から意図的に赤く焼かれていたものも存在することが、理化学的にも証明されました。

5 報告書について

調査の詳細については、「大津市埋蔵文化財調査報告書（160）坂本城跡出土瓦の再整理」に掲載されています。

A4判、本文等66頁、図版オールカラー48頁、販売価格2,000円

頒布場所：文化財保護課・歴史博物館・埋蔵文化財調査センター

